

平成 26 年度決算に係る
定期 監査 調査 書

平成 27 年 3 月

東 部 教 育 局

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	2頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	8頁
8	収入事務処理状況調べ	8頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	9頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	9頁
11	不納欠損額調べ	9頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	9頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	10頁
14	財産に関する調べ	10頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	11頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	11頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	11頁
19	寄附物件の受納状況調べ	11頁
20	備品の処分状況調べ	11頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	11頁
22	小中学校等への支援の状況調べ	12頁
○	意見、要望等	13頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
教育委員会事務局 東部教育局	学事担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公印の保管に関すること ・ 職員の身分及び服務に関すること ・ 市町教育委員会の組織及び運営に関する指導、助言及び情報提供に関すること ・ 市町立学校の教職員の人事に関すること ・ 教育の調査及び統計に関すること ・ 公立学校共済組合に関すること
	学校教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町立学校の学校運営、教育課程、学習指導及び生徒指導に関すること ・ 市町立学校の教科用図書及び教材の取扱いに関すること ・ 市町立の小学校及び中学校の児童及び生徒の就学義務の免除及び猶予に関すること ・ 教育の調査及び統計に関すること ・ 学校保健及び学校給食に関すること ・ 学校体育に関すること ・ 教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関すること
	社会教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育に関すること ・ 生涯学習及び社会体育に関すること ・ 教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関すること

4 職員の定員、現員調べ

(平成27年3月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	
定員	13	13	1	1	0	0	14	14	
現員	() 13	() 13	() 1	() 1	() 0	() 0	() 14	() 14	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	0	0	0	0	1	1	

5 役付職員の調べ

(平成27年3月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
局長	杉本 仁詞	0	11	
次長	網川 昭夫	2	11	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>教育局運営費 (学校教育)</p> <p>決算見込額 7,521千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 7,521千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 IV人財とっとり 2少人数学級の 拡充など学力 向上プログラ ム</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>県内東部地区を管轄し、5の市町教育委員会、80の市町立小中学校、83の幼稚園・保育所に対し、学校・園経営の充実や教員・保育士の資質向上、指導力・授業力の向上等を図るため、指導助言等による支援を行う。また、各市町教育委員会・各学校や園の自主・自立をめざす。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【東部地区幼稚園・保育所、公立学校との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全小中学校への学校訪問(年2回)や要請訪問等により、学校経営や学習指導の重点事項の周知、学校の取組状況の把握と指導助言、保育所・幼稚園の訪問による指導助言や情報提供を行った。 ○LD等専門員による巡回訪問(年3回)、要請訪問を実施した。 ○各市町郡校長会(毎月1回)、各市町教頭研修会(市:2回、八頭:1回)に出席して、学校課題等への対応について、指導助言等を行った。 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2か月に1回、東部教育局が発行する情報誌「東部通信」で学校の参考となる学校教育の取組事例等を積極的に紹介することにより学校を支援した。また、毎月の校長会では資料を配布し、新しい情報提供を行った。 ○HP(ホームページ)を活用して、各担当が学校経営・授業改善、社会教育に関する内容を積極的に発信した。 ○特別支援学級の担任の悩みに応える適切な指導や必要な支援を充実するために、「学級づくりのための参考資料となる手引き(実践編)」及び「元気いっぱい 園・学校づくりのポイント集」をHPに掲載した。 <p>【教職員への研修と啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東部地区を対象とした幼稚園教員・保育士の合同研修会の開催(4回)、要請訪問での「鳥取県幼児教育振興プログラム(改訂版)」「鳥取県幼保小連携カリキュラム」「元気いっぱい 園・学校づくりポイント集」(東部教育局刊)を活用した指導助言、学校の教育課題に対応したワークショップの開催等を行った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ワークショップ(年15回:特別支援教育相談会を含む) ・テーマ:授業改善(評価規準)・研究推進・特別支援教育・仲間づくり,保護者連携等 ・時期:年度初め、長期休業中、年度末 </div> <p>【市町教育委員会との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題共有のための市町教育委員会訪問及び東部地区指導主事等連絡協議会を開催し、「学ぶ意欲を高める学校教育の推進」、「新たな不登校児童生徒を生まない具体的方策」等について協議、情報交換を行った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町教育委員会訪問(年2回) ・東部地区指導主事等連絡協議会(年3回) ・その他の情報共有、意見交換会(随時) 外国語に関する研修の今後の方向性について </div> <ul style="list-style-type: none"> ○東部地区の市町教育長と年2回「東部地区市町教育長会」を実施して、人事・教育課題(土曜授業、コミュニティスクール、いじめ防止対策推進法等)について情報交換し、今後の取組の情報共有を図った。 	

事業名	概	要												
	<p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県及び各市町の保育担当課と連携を図りながら、園長会への参加、計画訪問、要請訪問等を実施した。 ○前期の小中学校の学校訪問において、管理職と研究推進の方向性を確認するとともに「とっとりの授業改革【10の視点】」を活用した授業改善を促した。 ○いじめ不登校対策として、新たな不登校児童生徒を生まない具体的な対応策について東部地区指導主事等連絡協議会で協議し、各市町での取組を促した。 ○スクールカウンセラー研修会において、市町の生徒指導担当指導主事に参加を依頼し、課題の共有を図った。 ○LD等専門員とスクールカウンセラーの合同研修会において、新たに具体的な事例を基にしたケース研修をするなど、連携して不応児童生徒や学校へ関わるようにした。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼保・小の円滑な接続の推進において、県や各市町の保育担当職員の同席など各市町の保育担当課と連携を図りながら、園長会への参加や訪問を通して、「鳥取県幼保小連携カリキュラム」の理解を深めることができた。 ○「とっとりの授業改革【10の視点】」を授業改善の取組を活用して、意識して取り組んだ学校が増加した。 <ul style="list-style-type: none"> ■小学校において、取組校が増加した項目は2項目あり、そのうち、「魅力的な課題・教材の提示」は38校から44校に増加した。 ■中学校において、取組校が増加した項目は2項目あり、そのうち、「魅力的な課題・教材の提示」は12校から17校に増加した。 ○中学校区を中心とした校種間連携による取組の重要性が各学校で認識され、生徒指導・授業改善・特別支援教育・幼児教育において、学校や園での連携は進み、取組の成果が徐々にではあるが感じられる。 <p>【学校教育実施状況調査（抜粋）】</p> <table border="1" data-bbox="497 1402 1401 1563"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H25 (A)</th> <th>H26 (B)</th> <th>(B) - (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校区での共通テーマをもとにした取組の実施</td> <td>95%</td> <td>96%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>接続期のカリキュラム作成率</td> <td>77%</td> <td>82%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラーの活用について、小学校担当者の連絡協議会への参加や小学校への働きかけを進めたことにより、スクールカウンセラーの活用が進んだ。 ○各市町教育委員会と連携して、園・学校への指導・支援を行い、学ぶ意欲の向上、言語活動の充実・学習評価の推進、不登校問題など共通の重点課題解決が図られてきている。 ○ある小学校では、中学校の教育相談担当者とスクールカウンセラーが定期的に訪問し、管理職や担当教員と子どもの様子について話し合い、学年や校種を超えて教員につなぐなど、不登校の未然防止や早期対応に組織的対応が進められ、今後の成果が期待される。 	項 目	H25 (A)	H26 (B)	(B) - (A)	中学校区での共通テーマをもとにした取組の実施	95%	96%	1%	接続期のカリキュラム作成率	77%	82%	5%	
項 目	H25 (A)	H26 (B)	(B) - (A)											
中学校区での共通テーマをもとにした取組の実施	95%	96%	1%											
接続期のカリキュラム作成率	77%	82%	5%											

事業名	概要								
	<p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「幼保小連携カリキュラム」を活用し、保育・教育の質の向上に向けた取組をさらに充実していく必要がある。 ○「とっとりの授業改革【10の視点】」を授業改善として取り組んだ学校は増加し、学習評価に取り組む学校も増加傾向であるが、まだ少ない状況であり、今後さらに推進を図っていく必要がある。 ○中学校における不登校生徒の割合が増加しており、不登校問題の解決に向けて、特別支援の共通の取組や幼保小中の具体的連携を工夫するなどさらに進める必要がある。 <p>【生徒指導月例報告集計（抜粋：中学校12月現在）】</p> <table border="1" data-bbox="528 589 1225 667"> <thead> <tr> <th data-bbox="528 589 834 627">項目</th> <th data-bbox="834 589 965 627">H25 (A)</th> <th data-bbox="965 589 1096 627">H26 (B)</th> <th data-bbox="1096 589 1225 627">(B) - (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="528 627 834 667">不登校生徒の出現率</td> <td data-bbox="834 627 965 667">2.30%</td> <td data-bbox="965 627 1096 667">2.98%</td> <td data-bbox="1096 627 1225 667">0.68%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○特別に支援を要する児童生徒は年々増加しており、特別支援教育に関わる教員の資質をさらに高め、個に応じた指導等、児童生徒への支援の充実を図っていく必要がある。 	項目	H25 (A)	H26 (B)	(B) - (A)	不登校生徒の出現率	2.30%	2.98%	0.68%
項目	H25 (A)	H26 (B)	(B) - (A)						
不登校生徒の出現率	2.30%	2.98%	0.68%						

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>教育局運営費 (社会教育)</p> <p>決算見込額 7,521千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 7,521千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 社会全体（学校・地域社会・企業・行政等）で取り組む教育の推進及び教育の原点である家庭教育の充実を図るため、各市町教育委員会や関係団体（PTA協議会等）との連携を図るとともに支援を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【市町教育委員会との連携】 県社会教育協議会主催の東部地区社会教育関係者研修会を市町の社会教育担当者で連携しながら開催した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開催日 平成26年7月2日（水）13:30～16:30</p> <p>会場 鳥取県 東部庁舎 講堂</p> <p>内容 実践発表1 「つなげひろがる地域の輪」 発表者 鳥取市賀露地区公民館</p> <p>実践発表2 「中高生を対象とした青少年教育事例」 発表者 岩美町田後地区公民館 岩美町浦富地区公民館 岩美町教育委員会</p> <p>実践発表3 「通学合宿から宿泊体験へ」 発表者 八頭町教育委員会</p> <p>ワークショップ 「青少年教育、特に若者世代を事業に取り込む仕掛けを考える」 進行 鳥取市教育委員会 参加者数 60名</p> </div> <p>【県PTA協議会への支援】 県PTA協議会が主催するPTA指導者研修（東部地区）の運営に係る支援をした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開催日 平成26年6月14日（土）9:30～12:00</p> <p>会場 国府町中央公民館</p> <p>内容 全体会 主催者あいさつ、施策説明 分科会 PTA活動推進分科会他3分科会</p> </div> <p>【教職員等への支援（学校支援）】 学校と保護者の連携の機会である保護者会を効果的に運営するため、コーディネーター（学校支援ボランティア事業）の活動を充実させるためのワークショップを開催した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日時等 平成26年4月15日（火）16:00～17:30 県民ふれあい会館 内容 「参加型保護者会を学ぼう」 参加者17名</p> <p>日時等 平成26年8月20日（水）14:00～16:30 鳥取県東部庁舎 内容 「すぐに使えるアイスブレイクレクリエーションを学ぼう」 参加者10名</p> <p>日時等 平成26年8月22日（金）13:30～16:00 鳥取県東部庁舎 内容 「学校の応援団のための研修会」 参加者13名</p> <p>日時等 平成26年11月15日（土）8:45～12:00 小鴨小学校 内容 「学校の応援団のための研修会（視察研修）」 参加者9名</p> <p>日時等 平成26年11月26日（水）19:00～20:30 倉田小学校 内容 「自立のしつけをめざして」 参加者60名</p> </div>

事業名	概要																														
	<p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育における学校支援として、より良い保護者会のやり方のワークショップを年度当初から活用できるように4月開催とした。また、心をほくして楽しく活動できるように、アイスブレイク・レクリエーションのワークショップを引き続き開催した。さらに、市町教育委員会の担当者に積極的に関わってもらうため、研修会のワークショップの進行を担当者に依頼した。 ○地域で学校を支える「学校支援ボランティア事業」を推進するため、コーディネーターを対象としたワークショップを2回開催した。コーディネーター同士が情報交換を交えながら、学びを深める演習を実施することができた。 <p>ウ 成果</p> <table border="1" data-bbox="459 728 1407 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>はい</th> <th>どちらでもない</th> <th>いいえ</th> <th>未回答</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実践発表は良かったか</td> <td>39</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td></td> <td>93%</td> <td>0%</td> <td>2%</td> <td>5%</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>演習は良かったか</td> <td>40</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td></td> <td>95%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>5%</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>【東部地区社会教育関係者研修会アンケート（回答者42名）】</p> <p>アンケートの記述の中に、「事業企画の段階より若者に声をかけ、内容に参画してもらうのは、是非取り組んでみたい。」「大人になって地域活動に協力的な人材が育成できるように、小さい時から年代を意識した事業を企画することが大切だと感じた。」等、参加者が前向きになることのできる感想が多くあり、開催の成果が見られた。</p> <p>【ワークショップアンケート】 評価 3.8（4段階）</p> <p>アンケートの記述の中に、「アイスブレイクやグルーピングなど、話しやすい雰囲気作りの大切さが理解できた」「保護者の日常の悩みに寄り添えるようなテーマで話し合いを進めたい」「地域の方の智慧をより多く見つけ、学校支援につなげたい。」「コーディネーターの役割の大切さが再認識できた。」など、前向きな意見が多くあり、開催の成果が見られた。</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○メディアの普及に伴う課題と関連のある子どもの基本的な生活習慣の定着に向けて、保護者の理解と協力は必要であり、今年度も県PTA協議会と連携した取組を推進してきたが、喫緊の課題であるメディア利用等を中心とした具体的な研修や啓発のあり方を関係機関と連携しながら検討する必要がある。 ○学校と保護者の連携をより強化するため、教員を対象としたワークショップを開催しているが、参加者数が少なく、開催時期等がニーズに合っていないのかと思う。多くの教員に参加してもらい、年度当初の懇談会で学びが活用できるように、開催時期（時間）や回数、研修内容等など検討する必要がある。 	区分	はい	どちらでもない	いいえ	未回答	計	実践発表は良かったか	39	0	1	2	42		93%	0%	2%	5%	100	演習は良かったか	40	0	0	2	41		95%	0%	0%	5%	100
区分	はい	どちらでもない	いいえ	未回答	計																										
実践発表は良かったか	39	0	1	2	42																										
	93%	0%	2%	5%	100																										
演習は良かったか	40	0	0	2	41																										
	95%	0%	0%	5%	100																										

7 収入証紙取扱額調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料
該当なし

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入

(平成26年12月31日現在)

(単位：円)

目	収入科		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
雑入		非常勤講師雇用 保険料	616	474,435	474,435	0	0		
	雑入		616	474,435	474,435	0	0		
	目計		616	474,435	474,435	0	0		
	合計		616	474,435	474,435	0	0		

(6) 現金の取扱状況
該当なし

9 収入未済額調べ
該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ
該当なし

11 不納欠損額調べ
該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
(1) 負担金
該当なし

(2) 補助金
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4) 委託料
該当なし

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成26年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名 又は 施設名 等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理 由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	東部教育局	鳥取市扇町	251.03	不明	増加	H				H	251.03	不明	
					減少	H				H			
合計			251.03								251.03		

ウ 山林 該当なし

エ 動産 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成26年12月31日現在)

種 別	前年度末	本年度中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 15,960	円 0	円 4,354	円 11,606	
収入印紙	—	—	—	—	
収入証紙	—	—	—	—	
タクシークーポン券	—	—	—	—	
鉄道バスプリペイドカード	—	—	—	—	
合 計	15,960	0	4,354	11,606	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
該当なし

16 借受不動産明細調べ
該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ
該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

20 備品の処分状況調べ
該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成26年12月31日現在)

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	出納員又は使用者職氏名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
パソコンディスプレイ	1	円 15,556	西 堀 明	損傷 H25. 4. 12	執務室内	キーボード上にクリップを置いたままディスプレイを閉じたため、ディスプレイを損傷した。	H26. 8. 29	無
合 計	1	15,556						

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
26年10月27日	・有 ・ 無		

2.2 小中学校等への支援の状況調べ

(平成26年12月31日現在)
(単位：回)

月別	保育園			小学校			中学校			特別支援学校			高等学校			合計		
	相談	計画	訪問要請	相談	計画	訪問要請	相談	計画	訪問要請	相談	計画	訪問要請	相談	計画	訪問要請	相談	計画	訪問要請
4月				15	11	8	2	6	4							17	17	12
5月		1	1	3	23	15	1	17								4	41	16
6月		5	6	4	84	40	1	26	6							5	115	52
7月		4	5	4	37	33		21	10							4	62	48
8月	1	6	5	5	1	13			5							6	7	23
9月		2	7	3	8	24		2	1					1		3	13	32
10月	1	8	3	7	38	38	2	25	6							10	71	47
11月		5	2	5	34	29		18	3							5	57	34
12月		2	4	2	34	29		34	3					1		2	71	36
1月																		
2月																		
3月																		
計	2	33	33	48	270	229	6	149	38					2		56	454	300

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし